

ハ之ヲ撤回シタルカ翌十八日由田ヲ約シテト先會見ヲ打切  
レリ

七、會社側

會社側ハ職工全部ヲ失業セシムルニ忍ヒストレト人数ニテ至  
當セバ欠損ヲ見ヤル程度ノ成績ヲ擧ゲ得ヘシトナシ然レテ則  
地ニシタルカ万一職工側カ兼認セヤル場合ハ己ムナク工場ヲ閉  
鎖シ全負シ解雇セントスル意嚮ナリ

八、労働者側

組合側ハ全職工ヲ組合ニ加盟セシメント極力勤務中ナレカ解  
雇手當ニ就テハ會社ノ業態ノ欠損ナルモ社長ハ尙相當私財ヲ  
投アルトノ予想ノ下ニ強硬ニ手當増額ヲ要求セント計畫中  
右外申(通)報候也

6. 5. 1 |  
2405.

勞務第一六四七號

昭和六年四月二十七日

警視總監 高橋 守 雄

内務大臣 安達謙藏 殿  
社 會 局 長 官 殿

大革工具株式會社ノ労働争議ニ関スル件 (第二報)

要旨 會社側ハ引續キ臨時休業スレトシ本月十八日職工二十四名ニ解雇通知ヲ發シシレカ二十日ニテ

余名ノ出勤者アリタルヲ爲臨時休業ヲ取消シテ平常ヲ開始セリ

會社ハ其後工場閉鎖ニ決シ其旨發表シタルヲ爲組合側ハ平常問題ニ付交渉中

標誌争議ノ其後ノ経過左記ノ通

記

一、會社側